



にちりんこう
「日輪煌」

三尻中学校だより

学びづくりは人づくり

学校教育目標 ・ 思いやりのある生徒 ・ 自ら学ぶ生徒 ・ 進んできたえる生徒

『あいさつ』と『歌声』の響く学校 「イノベーション まだ見ぬ世界へ」

「Motion & Emotion for Solid Academic Ability !」

～校長から～

～後期始業式～

熊谷市立三尻中学校 校長 黒澤 正之

今日からいよいよ令和元年度、後期が始まります。短い休みでしたが、有意義に過ごすことができましたか。後期の行事には、28日のサンフェスタに始まり、フリー参観、教育相談、定期テスト等が予定されています。また、1年生は「命の授業」、2年生は「冬季スキー林間学校」、そして3年生は、進路選択のための入試など、どれも大切な取組があります。どうぞ、これからの取組に正面から向き合って行って欲しいと思います。…さて、毎週水曜日は、生徒会の皆さんのリーダーシップの下「朝の論語」を学んでいます。その論語の一節に「人の過つや、各々の党(たぐい)に於いてす。過ちを窺て、斯(ここ)に仁を知る」があります。この意味は、「人は、それぞれ自分の程度に応じた間違いをします。そして、過ちの内容を良く観察すると、その人が思いやりのある人間かどうか、うかがわれるのです。」ということです。人は、誰でも失敗はします。しかし、失敗したときにこそ、その人の本来の姿が見えるということです。「仁」という言葉は、人に対する思いやりの心のことで、『論語』では、とても大切なものとされています。そして、この「仁」を身に付けるためには、謙虚に学び続ける姿勢が大切です。孔子が生涯学び続けたのも、思いやりの心「仁」を身に付けるためでした。この思いやりの心を持ち、品位ある人のことを「君子」と言います。つまり、失敗したときにその人が君子であるかどうか分かるということです。「過ちて改めざる、是れを過ちと言う」がありますが、間違いを犯したのにそれを直そうとしない、それが本当の間違い、失敗だと言っています。間違いは、誰でもしてしまうものです。しかし、間違いをしたのに間違いだと認めなかったり、いつまでも失敗したことにくよくよしていることが、本当の間違いなのです。間違いは、人を成長させるチャンスでもあります。学び続けている人は、間違いや失敗から沢山のことを学ぶことができます。さて…テニスの錦織圭選手がこんなことを言っています。「コートの上での確かな状況判断をする秘訣は、すごく単純なことです、『普段の生活で正しい判断』をすることです。普段それができていないのに、ましてやコート上でなんか判断できるわけがない。生活のバランスを含めて、しっかりした行動態度を作っていくことが秘訣です」と。みなさん一人一人が、個人で、チームで、クラスで、学校で、と普段のそれぞれの生活の場面で、正しいと判断した中で生活をしていくことが、結果としての「実り」に結びつくのです。三尻中の生徒の皆さんが、この秋、どのような「実り」を手にするのか、私はとても楽しみです。三尻中の生徒としての「誇り」となるような素晴らしい「実り」を全員が手にしてほしい、と願っています。それぞれに「収穫の、実りの秋」となることを期待します。

12月の予定

1	日	
2	月	1、2年後期中間テスト
3	火	全校朝会(人権)・後期人権旬間(~17) タグラグビー教室(午前)
4	水	生徒会の日
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	支援籍学習
10	火	生徒朝会
11	水	登校指導・くまなび 15:00~17:00
12	木	2年生冬季林間学校説明会 5・6校時
13	金	3年進路相談①
14	土	第3回資源回収
15	日	
16	月	3年進路相談②
17	火	3年進路相談③
18	水	3年進路相談④・くまなび 15:00~17:00
19	木	3年進路相談⑤
20	金	3年進路相談⑥
21	土	
22	日	PTAユークラスの集い(さくらめいと)吹奏楽部演奏披露
23	月	給食最終日・大掃除5校時
24	火	1年命の授業 13:40~・弁当持参
25	水	全校集会・アシスト配布・金曜日課・成績通知書配布
26	木	冬季休業日(~1/7)
27	金	体育館ワックス・部室等清掃・塩カル散布
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	大晦日

三尻中文化の祭典「SUNフェスタ」が開催されました!!!



吹奏楽部の演奏は流石です。完成度も高く、「さくらめいと」での演奏は、一層迫力ある演奏でした。アンコールにも応えて演奏する吹奏楽部の皆さんは、照明に照らされ輝く楽器以上に輝いていました。美術部の作品はどれも力作で、中でも、ステージ上の大きな背景面は圧巻でした。会場も華やぎました。生活芸術部のファッションショーでは、衣装の出来は勿論のこと、会場の大歓声も心地良くモデル役の生徒の笑顔が素敵でした。英語部の「不思議の国のアリス」も手作り感満載のホットなステージでした。英語のセリフも勿論のこと、その演技と衣装は観衆を十分魅了しました。いよいよ合唱です。午前中は、籠原小の6年生が1年生の合唱を聴きに来館しました。午後は三尻小でした。来年入学する皆さんには、中学生の歌声がどのように響いたのでしょうか。各合唱は、優劣付けがたく審査員泣かせでした。各クラスの生徒と先生が一体となって完成させてきた歌声です。その美しい響きは、保護者の皆さんを始め生徒や教師、全ての人の心に届いたと思います。審査をしている時間を利用して、職員も合唱を披露しました。ステージに上がり照明を当てられるのは少し照れ臭いものです。その後、3年生の加藤さんの英語スピーチがありました。市内大会、地区予選よりはるかに素晴らしい発表となり、拍手喝采でした。生徒会の引継式も無事に終わり、閉会式では、各賞の発表がありました。価値ある一日を過ごすことができました。ありがとうございました。

台風19号関東直撃 10/12~13

避難所の開設(体育館1F)



台風一過の朝(三尻中学校庭)

猛威を振るった台風19号。日本国中に大きな災害の傷跡を残しました。河川の決壊が懸念された荒川でしたが、幸いにも、良く持ちこたえ最小限の被害にとどまりました。事前の新聞報道では、その脅威について「命の危険を脅かす台風が発生」と我々市民に警鐘を鳴らしたことにより、一般人も災害に備える準備ができたことも功を奏したのでしょうか。本校も第二避難所としての役割を果たし、避難してきた方々を支援することもできました。いざという時には、一人ひとりの力を結集させて災害に対処するしかありません。今回は強風と大雨が懸念された台風でした。言葉では表現できぬ災害の恐ろしさを知りました。本校でも台風に向けて、四つある門を飛ばされないように縛りつけて置きましたが、体育館裏側の門が吹き飛ばされて倒れていました。とても、一人の力では動かしようも無く、しかもワイヤーで結んであったにもかかわらず、そのワイヤーも引きちぎられ、道路側に飛ばされていました。確かに、夜9時頃の強風は、防ぎようもない位の強風でした。改めて自然の猛威を知らされた気がしました。避難された方々と共に、学校を一夜を過ごしました。普段であれば温かい布団に入浴と夕食。それが叶いませんでした。冷たい雨と風の中、毛布一枚で過ごしました。これが何日も続くとなると…避難生活をしている方々の辛さを痛感しました。



なぎ倒された体育館裏の門扉

